

令和4年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第1回） 会議録
日時：令和4年8月5日（金）
午前10時00分～
場所：佐久市役所議会棟1階
第4委員会室

【出席者】井出（時）部会長、土屋副部会長、堀内委員、井出（ま）委員、竹内委員、柴平委員、笠井委員、宮澤委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、金澤主任、井出主任、大井主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（伊坂委員、秋山委員、原委員）

2 議事

（1）第2期佐久市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
質疑、意見

事務局	<p>初参加の委員さんもいらっしゃるため、まず簡単に総合戦略の概要について説明し、その後調査報告書の説明に入る。</p> <p>①総合戦略概要について説明 ②基本目標①「選ばれる暮らしやすさを更に高める、佐久市における『まち』の創生」について説明</p>
部会長	基本目標①について、ご質問等ありますか。
委員	総合計画では、「組織横断的」や「DX」、「BPR」等革新的な言葉が多用されているが、「総合的」というより「所管別一覧」というような印象を受ける。このコロナ禍で、今までやってきた方法をそのまま進めていいのか、見直さなければいけない社会状況なのか、その辺りは検討されたのか。例えばこれから仕事をこと、まちのことは当然だが、格差や断絶など、このコロナ禍でたくさん出てきた。それに対して今までの計画で、同じやり方で進めてもいいのかを検討し、これで行こうという結論になったの

	か。
事務局	令和2年から、コロナ禍という中で、会議では換気に気を付けたり、リモートをしたり対策を考えて進んでいる。施策となると、緊急事態宣言下で社会が止まってしまったような際には、国からの支援金と、市としてもその支援金に上乗せして事業者支援をしたところ。市民の皆さんには、国からの給付金や、市からはプレミアム商品券、クーポンを使った消費喚起など対処的に進んでいる。事業者の皆さんも、事業形態を工夫して、テイクアウトを積極的に進める等それぞれの中で生き延びていくためにはどうしたらいいか考えながら工夫をしてきた。そういう取組に対して行政は、伴走する形で寄り添った支援をどこまでできるかということが大切だと考えながら進めてきた状況である。
委員	大きく変える必要はとりあえずない、見直すことはないという結論が出た、ということでよいか。
事務局	動きながら、必要な工夫や支援を考えていかなければならないということ。国のDX推進に当たり、今後、市の方で進めていくのは、手続の簡易化である。自宅からスマートフォンやパソコンで手続きができるよう、情報政策課を中心に進めている。
委員	オンライン、テレワークなどの部分は、第3波くらいのときに施策が進んでいるが、市民の直接協働や、市民参加などの部分に関しては、準備が進んでいない。例えば、説明会などの際に、ネットワークがないから佐久市のホームページにアクセスできない。あとは、密にならない、人が集まらないようにするためにオンラインで2つの場所でやるとか、そういう準備も3年も経つになかなか進まない、というはどうなのか。
事務局	学校では、GIGAスクールということで、1人ずつタブレットが入っており、市役所では、30台程度パソコンを入れてテレワークができるよう環境整備をしている。当然、経費がかかることがあるので、国からの財源を確保するなかで、迅速な体制整備を心がけているところ。

委員	<p>毎年、区長総会が行われているが、今年3年連続で中止になっている。本来であれば、地域コミュニティに対する対策について説明する機会として重要だが、1カ所に集めることができないからという方向性で中止となっている。各支所をオンラインで繋いで説明を見せるなど工夫をして開催する仕組みを作らないと、地域コミュニティでの共同作業や住みやすくするための活動などが切り離されてしまうのではないかと心配している。</p>
事務局	<p>区長会や区内での打合せができない状況が続いているが、最近の国の流れからしても、基本的に経済活動や社会活動を止めない手法の検討に入ったという報道もされており、併せて地域の活動もだいぶ変わってくるのではないかと考えている。</p> <p>その中で、オンライン化といったことは市の方でも検討をしているので、区長総会でも実施できていくだろうと思うが、ある程度の時間が必要と考えている。</p>
委員	<p>防災訓練について、全国的にも問題になっているが、実施しているところが少ない状況である。自主防災組織で訓練をしたい、対策を考えたい、状況を調べたいという時に、訓練モデルと実際のギャップがあまりにもありすぎると感じている。浸水が懸念される地区、土砂災害が懸念される地区と訓練が異なるため、いつたい何をやつたらいいのか戸惑うこともある。</p> <p>また、この場所が危険なため調査と一緒にやってほしいと要望を出しても、みんなが同じような、網掛けの対応になってしまっている。御牧原台地はため池が300や400もある地域で、2019年に見直しがされたものの、区内のここが危ないから対策しようという具体的な活用がされていない。このような状況であるため、防災訓練の実施には至っていない。以前は、消防団が少なくなっているから、区内で残っている人でもできるようにしようと様々な活動をしていたが、台風や大雪の頃から、もっとピンポイントでやるべきことが見えてきた、そういうことを相談してもなかなか返事が来ない状況である。地域によって事情が違うからだと思うが、訓練自体がやりにくくなってしまっており、こういった点がこの地区の問題だということを相互に話し合いができる機会があまりないため、課題解決に進まないのだと思う。地球温暖化の話があったが、実際に起きている災害などの危険性が高ま</p>

	<p>つっていることへの対策と将来的に向かって二酸化炭素を減らすということの2本立てでいかないといけない問題だと思うが、今どうするのかということをまったく無にして、将来的なところだけの対策とするのはどうなのか。</p> <p>C02削減に関しては、このままの方向で進めていくとして、横断的に行っていく防災訓練ができていないということは問題を感じている。</p> <p>先ほどのため池の問題もあるが、耕地林務課でマップを制作しているが、その運用やマップ自体の評価などは危機管理課が所管となり、連携が取れておらず実施されていないと思う。</p>
事務局	<p>ご意見としてお伺いする。</p> <p>また、温暖化については、対策を進めている一方で、気候変動適応策の推進ということも、危機管理課と環境政策課で連携してやっていくということで現在検討を進めているところ。</p>
委員	建設だとか、経済の方は絡んでいるか。
事務局	絡んでいるため、併せて伝える。
委員	アンケートをもとに評価をされているということだが、対象となった1,000人は、ランダムに取っているのか、年代別なのか。
事務局	16歳以上、男女で地区ごと、全てで年代を均等に割り振って、無作為抽出で1,000人を抽出している。回答率はだいたい5~6割程度。
委員	望月に住んでいるが、8ページの望月の満足度は住みやすさとして低い位置にある。私自身はそれほど住みにくさを感じないが、こうした方がいい、こういうところが良くないという部分はアンケートに書かれているのか。
事務局	個別意見というものをいただいている。
委員	その中に、なぜ住みにくいと感じているのかという意見などあれば考えていいいただきたい。

	<p>12 ページで、まちづくりの推進をしている臼田や野沢地区は住みやすいまちとしてあがっている。地域とのコミュニティ活動を非常によくやっているようだし、暮らしやすさを考えている地域はやはり住みやすいということだと思うので、住民と行政と民間の 3 者が協力してやっていくことが大事と考える。</p> <p>最後に、人口減少について、大変大きな課題と感じている。地域でも妊婦の方や遊んでいる子どもを見かけなくなってしまうというさみしい気持ちをもっている。望月も、学校の 4 校の統一に加え、児童数が減少している現状がある。先日メディアで、岡山県奈義町の出生率が 2.95 倍で全国トップクラスという報道を見かけた。地域によって違いがあるので全てを真似することはできないと思うが、先進事例を参考にしつつ力を入れて考えていきたいと思う。</p>
事務局	今後の施策の参考とさせていただく。
委員	<p>9 ページの総合分析で、住みやすさは低い順で望月、中込、浅科であることの分析はされているか。中込の人たちがなぜ住みにくいと感じているのか、考察があつたら教えていただきたい。その結果、中込のグリーンモールのところに手を入れて、人口を集めることができるということが可能なのか。今行っている取組が中込地区を活性化するということに繋がらないのではないかと感じている。それよりも野沢や臼田がやっているような形をとるのはいかがか、理由について分析してほしい。私は、浅間地区に一極集中型になつていている気がしている。高速道路網も中込地区は恩恵がなく、大型商業施設も中込地区に全くない。そうすると遠くに行かざるを得なくて不満が出るのではないかと推察するが、いかがか。</p>
事務局	<p>中込地区については、年代を重ねるなかで人が少なくなり、空き店舗が増えてしまった状況の中で、なんとかしたいという地元のご意見もあつたため、市としても寄り添う形で、社会実験等をやりながら次のステップを今考えているところ。既存の拠点をうまく活用したまちづくりを考えている中で、業者も含めて様々な実験をしながら、地区の皆さんと話し合える機会を設け、まずはグリーンモールをなんとかしたいということで進んでいる。</p>

委員	利便性というのが一番だと思うし、あの場所に目的がなくなってしまっているのではないかと感じている。
委員	総合計画の審議会ということで、個別具体的な検討ができないという点は課題と感じていたところなので、今後検討いただきたい。
事務局	ご意見としてお伺いする。
委員	<p>アンケートについて、「どちらでもない」という項目の意味合いが分かりにくいと感じている。可もなく不可もないという人と、そもそもその施策を知らないという人が同じ回答となってしまっており、本来やるべき施策の検討につながっていないのではないかと危惧しており、説明書きを追加するなど工夫が必要と感じている。</p> <p>また、回答率が低いということも課題と感じており、興味がないというだけでなく、コロナ禍で生活に追われアンケートどころではない、障がい者であるため回答ができない等の実態があるのではないか。アンケートそのものに対する工夫をしていかないと実態がとらえられないと思う。</p>
事務局	検討させていただく。
部会長	<p>お時間の関係もございますので、他にご意見、ご質問がある場合には、次回部会までに、事務局に個別にご連絡をいただければと思う。</p> <p>基本目標①について、本日のご意見及び個別のご意見を取りまとめてみたいと思います。出されましたご意見は、事務局で取りまとめ、次回以降の部会で委員の皆様にお示しし、確認をいただく形を取りたいと思いますが、よろしいか。</p>
委員	次回以降の部会に向けて、1時間という会議時間が短い感じる。
部会長	新型コロナウイルス感染症対策のため会議時間が短くなっています。

	いるという事情がある。
事務局	この場ではなくても個々に意見を頂ければと思う。
委員	会議の場で発言をすることで、その意見に触発されることもあるので、できるだけ個別という形は避けてもらいたい。
事務局	当初は2時間程度の会議を想定していたが、感染状況を鑑みて、部会長と相談の上、本日はこのような対応を取らせていただいた。
部会長	次回部会は対面にて予定通りの時間で意見交換を行えれば良いと思う。

(2) その他

部会長	その他について、事務局から何か。
事務局	第2回の部会を、8月19日（金）13時30分から開催予定。内容としては、第2次佐久市総合計画基本計画の第1章、教育、文化、生涯学習分野に係る審議を行う予定。

3 閉会